

# 議会だより しらおか Shiraoka



P 2 令和2年度 一般会計 決算

P 4 令和2年度 特別会計 決算

P 5 令和2年度 公営企業会計 決算

P 6 条例等

P 8 令和3年度 補正予算

P 9 一般質問

P 16 委員会活動報告

P 17 審議結果

P 18 議会日誌

## 四季の色どり豊かな未来の白岡

篠津小学校6年(当時) 玉貫 妃花 さん

※令和元年夏作品

この作品には3つの思いがあります。1つ目は桜です。桜には、すてきな未来を送ってほしいという意味があります。2つ目は、もみじです。もみじにはあたたかい心、やさしい心をもってほしいという意味があります。3つ目は、子どもから大人が遊んでいる絵です。そこには、全ての思いがたまっていて、未来の白岡は、いくつになっても、すてきな自分を追いかけてほしいという意味です。

※表紙のテーマは「未来－明日を創る－」です。

# No.213

2021.11.1



## 《9月定例会》

8月26日から9月21日までの27日間にわたり議会定例会が開かれ、行政報告3件、市長提出議案22件、議員提出議案3件を審議しました。

### 【審議結果】

- ・市長提出議案 22件…同意・可決・認定
- ・議員提出議案 3件…可決

## 事業の特徴

### ◆新型コロナウイルス感染症対応事業◆

- ①特別定額給付金(一人10万円)
- ②市内事業者支援
- ③新しい生活様式への対応
- ④地元応援プレミアム付商品券
- ⑤GIGAスクール(一人1台端末)

### ◆安全に関わる事業◆

- ①ガードレール設置

### ◆市の発展に関わる事業◆

- ①白岡駅西口線の道路整備工事

## いきいき教育課

**問** 社会体育関係団体への補助金交付について、4団体への補助金交付事務に不備があると伺っているが具体的な内容は。

**答** 実績報告書の提出漏れ、交付額の確定通知の発送を行っていなかった。今後は、事務上不備がないよう改めていく。

## 商工観光課

**問** 特別定額給付金は市民全員に行き渡ったのか。

**答** 給付率は世帯ベースで99.65%であり、全員ではない。辞退されたかたや、申請が無かったかたもいた。

## 福祉課

**問** コロナ禍における民生委員の活動状況と課題は。

**答** 消毒液及びマスクの購入、防災ベストを作成し、ほぼ全ての活動をしていただいた。

令和2年度

# 一般会計

歳入…215億2576万

歳出…207億1347万

## 財政課

**問** 公用車集中管理事業について年間の稼働率はどの程度か。

**答** 財政課が集中管理する公用車の稼働率は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、2年度は30%弱であった。2時間単位での予約変更と減車を検討中である。

## 企画政策課

**問** 交通事業者支援事業の補助金は、5社だと単純計算で1社当たり60万～70万の補助金額となる。補助された側の事業者から、感想やこういう点が助かったといった意見はあったか。

**答** 緊急事態宣言が出た当初は、相当大きな打撃を受けたとのことであり、当時の厳しい状況の中で助かったという話を伺っている。

## 教育総務課

**問** 教育委員会定例会での議決事項は何件か。

**答** 定例会は12回開催し、議決事項は9件、報告事項は52件、その他事項は52件である。また、臨時会は2回開催し、議決事項は2件、報告事項は4件であった。議事内容としては、教職員人事や教育委員会に係る規則や要綱の決定及び教科書採択などの教育に関する重点施策である。



# 歳入歳出決算 認定



**8456 円** (新型コロナウイルス感染症対応に関する国からの交付金5億1473万6000円を含む)  
(前年度比42.9%増)

**4480 円** (前年度比43.5%増)

**差引額…8 億 1229 万 3976 円**

※差引額には令和3年度への繰越事業が含まれています。

## 総括質疑

**問** 市は、歳入確保・公有財産の有効活用として売却等を推進しようとしているが、大切な決算認定時に未使用地等を面積だけでいいとするのはどうか。前例踏襲でない職員の意識改革は、企業会計的な考えや経営的な発想の視座を持つことだと思う。「白岡を動かす」といった市長が役所に動かされないよう決算時に土地建物の公有財産の詳細情報を示すべきと考えるが、市長に問う。

**答** 「財産に関する調書」の様式は、地方自治法施行規則で定められている。しかし、平成18年度に総務省から「地方公会計制度の整備」が位置づけられ、発生主義の活用や複式簿記の考え方を取り入れたいいわゆる財務4表の整備が要請された。これに伴い、市では、公営企業と同様の評価方法による資産評価及び固定資産台帳の整備を行い、平成22年度決算から新地方公会計の導入を図り、財務4表を毎年整備し、議会への報告及び市ホームページでの公表、市民ラウンジでの閲覧などを行っている。新地方公会計と公共施設等の適正管理を結びつけることによって、今後の公共施設等のマネジメント、公共施設の再編をはじめ、行財政改革の取組を強力に推進していく。

**問** 行政区長会では、市から31万円の補助金を受けている。一方で支出を見ると交際費として前市長の退職に際し3万円のお祝い金を支出している。この用途は適切か。

**答** 前市長の退任お祝い金は、市からの補助

金を財源としていないが、社会通念や一般倫理に照らし、市民の皆様にも誤解を招くことのないよう組織に対して助言等していく。また、職員もモラルについて改めて意識を持って業務に取り組んでいく。

## 一般会計全般に対し

### 反対討論

消費税を10%に引き上げたことが、コロナ禍における景気後退にも影響し、景気対策としての消費税引き下げが課題になっています。また、世界的に気候危機が叫ばれその打開策が求められていますが、市の取組は不十分だといわざるをえません。

### 賛成討論

コロナ禍での厳しい行財政運営をせまられ、そのような状況下にあっても実質収支額においては、7億2534万2千円の黒字となっています。これらは、執行部を中心とした職員の努力の結果と評価します。よって、本決算を評価し賛成します。



議案  
第55号 ▶ 認定

## 国民健康保険

## 反対討論

新制度として運営されているこの制度は、他の医療保険制度に比べ保険料が高く、市の保険料は県内でも高い水準であり反対します。ただ、全国知事会などの運動により保険税の子どもの均等割を国・県で負担する制度改善で無料化の実現が、期待されます。

## 賛成討論

被保険者の健康保持・増進を図るために人間ドックの補助や、特定健診の受診勧奨に努力の跡がみられます。また、新型コロナウイルス感染症の影響で収入減少の方に保険税の減免や、給与支払いの無い方に傷病手当を支給するなどの支援策もあり、賛成します。

議案  
第56号 ▶ 認定

## 後期高齢者医療

## 反対討論

75歳以上の人々を別建ての保険制度に加入させるこの制度は、保険料を滞納し、悪質とみなされれば保険証を取り上げられます。

その上、窓口負担を2割にする制度改悪が来年秋以降に予定されています。医療に差別を持ち込むこの制度は廃止すべきです。

## 賛成討論

団塊の世代が後期高齢者となる4年度を目前に控え、歳入については、保険料の徴収努力により徴収率99.7%、歳出については、県広域連合への納付が93.8%であり、後期高齢者医療制度への財源を適正に執行しています。よって本案に賛成します。

議案  
第57号 ▶ 認定

## 介護保険

## 反対討論

この制度は高齢者に対する介護サービスを一体的、効率的に提供し、社会全体で支える制度として出発しました。しかし、たび重なる改悪が繰り返され、利用料が2割にされ、現役並みの所得があると認定された方には利用料が3割にもなったことは問題です。

## 賛成討論

介護保険料は前年度と同程度の収納率が確保されており、国や県などの法定負担分も、適正に財源が確保されています。また、介護予防や地域の高齢者を支えるための事業に取り組んでおり、介護保険制度にもとづき適正な執行と認められ、本決算に賛成します。

議案  
第58号 ▶ 認定

## 野牛・高岩土地区画整理

**問** 特別保留地と一般保留地にはどのような違いがあるか。

**答** 特別保留地は、特定の方に売却するものであることから、不動産鑑定評価を基準としながらも、一般保留地と比較して、安価な価格で売却を行っている。

議案  
第59号 ▶ 認定

## 白岡駅東部中央土地区画整理

**問** 保留地処分に伴う価格の算定は、職員が直営でできないのか。

**答** 土地の鑑定評価については、不動産鑑定士が経済情勢や地価の動向、地域の情勢など、諸条件を勘案して算定している。

保留地の販売価格の決定に当たっては、客観的な土地評価が必要であることから、職員が土地評価を行うことは適切ではない。

議案No	区分	歳入	歳出	差引額
第55号	国民健康保険	48億8709万1千円	44億3598万5千円	4億5110万6千円
第56号	後期高齢者医療	6億7002万6千円	6億6648万円	354万6千円
第57号	介護保険	36億2550万8千円	34億6714万3千円	1億5836万5千円
第58号	野牛・高岩土地区画整理	535万6千円	535万6千円	0円
第59号	白岡駅東部中央土地区画整理	2億3680万1千円	2億2511万3千円	1168万8千円

議案  
第 60 号 ▶ 可決  
認定

## 水道事業

**問** 電話加入権は、国税庁の財産評価基本通達では、1回線当たり1500円の評価となっており、計上されている額は過大と思われるが、今後修正するべきでは。

**答** 計上額については、今後調査し検討していく。

議案  
第 61 号 ▶ 可決  
認定

## 公共下水道事業

**問** 受益者負担金について、土地の面積に対して賦課するのは不公平感が強い。公共用地は減免措置があることも問題と考える。建物に対して受益者負担金を賦課する等の条例を改正し、制度を改められないか。

**答** 建物に対して賦課する場合、建築規模は、建築方法で増減が起り得るので、不動産で妥当性の高い土地に対して賦課している。また、公共用地への減免については、昭和40年の国の通達を適用している。

**問** 基準外繰入金は、単なる運転資金であると思われる。地方財政法の特別な事由にはあたらないのではないか。

**答** 下水道事業の厳しい財政状況を踏まえ、一般会計から繰入金をさせていただいているという認識であり、特別な事由にあたりと考えている。

## 反対討論 ①

公共下水道事業は市街化区域内の住環境整備、河川の浄化を目的に進められています。しかし、利用する市民に受益者負担金を課したり、都市計画税の賦課などの二重負担は問題です。固定資産税では実施されている受益者負担の公平性も検討すべきです。

## 反対討論 ②

一般会計から約2億8500万円を繰入れているにもかかわらず約2700万円の利益を計上し、その全額を公共下水道事業会計の減債積立金として積立てるのは、「市民の皆様の血税をいつの間にか一企業会計の懐に納めてしまう」こととなりますので、反対します。

## 賛成討論

公共下水道事業の純利益を減債積立金に充てることは、経営状況から適切と考えます。災害用マンホールトイレ設置工事や雨水幹線の改良工事等によって災害対策の推進や施設の充実を図ったことは、快適な市民生活のために有益であり、賛成します。

議案  
第 62 号 ▶ 可決  
認定

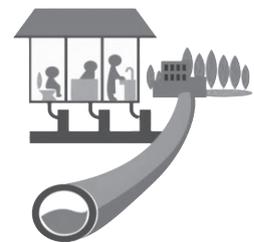
## 農業集落排水事業

## 反対討論

一般会計から約5100万円を繰入れているにもかかわらず約71万円の利益を計上し、その全額を農業集落排水事業会計の減債積立金として積立てるのは、「市民の皆様の血税をいつの間にか一企業会計の懐に納めてしまう」こととなりますので、反対します。

## 賛成討論

農業集落排水事業会計の純利益を減債積立金に充てることは、経営状況から適切と考えます。事業収益が一般会計からの繰入金に依存することは、経営状況からやむを得ないものと考えます。公共下水道への接続の早期実現により経費削減になることを期待します。



議案No	区分	総収入	総支出	経常利益	当期末処分利益剰余金
第60号	水道事業	10億 8619万 円	8億 8400万 4千円	2億 218万 6千円	3億 2750万 6千円
第61号	公共下水道事業	9億 6914万 5千円	9億 4223万 6千円	3786万 4千円	2690万 9千円
第62号	農業集落排水事業	1億 549万 7千円	1億 478万 8千円	121万 5千円	70万 9千円

## 条 例 等

議案  
第 43 号 ▶ 同意

### 市教育委員会 委員の任命

本委員会委員山崎美佐江氏の任期満了による再任に議会として同意しました。

**問** 教育委員の再任は、教育委員会での発言や活動実績を評価したうえで、委員に相応しい理由を明確にするべきではないか。

**答** 再任は、活動実績を踏まえ検討を重ねて決定している。教育委員の人事評価の明確な基準はないが、評価方法は、他市の事例を調査するなど検討していく。

議案  
第 44 号 ▶ 可決

### 押印見直しに伴う 整理条例

行政手続における押印見直しに伴う関係条例の整理に関する条例です。

**問** 職員の服務に関する宣誓書の内容は、重要な事項が含まれていると思うが、署名押印をしないことによる影響はないのか。

**答** 宣誓書は、法令を遵守し、公正公平な公務員として職務に精励することを求める内容となっている。こうした内容の宣誓書を職員から提出させているので影響はない。



議案  
第 46 号 ▶ 可決

### 学童保育所 条例の一部改正

4年1月4日に西第三児童クラブを設置する条例の一部改正です。

**問** 西第三児童クラブの開設で、待機児童は解消される見込みか。また、今後の推移をどのように考えているか。

**答** 3年4月1日時点で、市全体の待機児童数は72名である。西児童クラブの待機児童については、開設により解消される見込みである。



議案  
第 47 号 ▶ 可決

### 道路構造の基準及び 建築物の制限に関する 条例の一部改正

市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例及び市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正です。

**問** 自転車歩行者専用道路及び歩行者専用道路は、市内に何箇所あるのか。

**答** 市指定自転車歩行者専用道路は、3箇所。歩行者専用道路は、19箇所ある。

議案  
第 48 号 ▶ 可決

### いじめ防止対策 推進委員会 条例の一部改正

いじめ防止対策推進法に基づく委員会委員に法務局関係者を含める人員数の変更です。

**問** 規則で委員会会議は公開となっているが、議事録はホームページに掲載しているか。

**答** ホームページでの公開は行っていないが、今後検討する。



議提案  
第1号 ▶ 可決

## 委員会条例の一部を 改正する条例

国のデジタル化政策の一環として、行政手続における押印の見直しが進められている中、本市議会としても事務手続の簡素化を図るため、委員会の内部手続や政務活動費の交付において押印を不要とするものです。

議提案  
第2号 ▶ 可決

## 会議規則の一部を 改正する規則

議会への欠席理由を明確にし、女性を始めとする多様な人材の議会参加を促進するためのものです。これまで議会の欠席理由を「事故」とひとまとめに表記していましたが、「公務、疾病、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他のやむを得ない事由」と具体的に示すことに改めます。出産のための欠席についても具体的な期間を明記します。また請願における押印を不要として、手続の簡素化を図るものです。



**問** 第2条・第86条の「配偶者の出産補助」は、出産当日のみを指すのか、それともその前後を含むのか。具体的には次の2つの場合は該当するか。①予定日より1か月以上前に破水して絶対安静が必要な配偶者を補助する場合。②産後の体調の回復しない時期にある配偶者を補助する場合。両条第2項において、出産者は予定日の6週間ないし14週間前から出産後8週間後までの期間について認められていることもふまえて答弁されたい。

**答** 「配偶者の出産補助」については、議員の配偶者が出産する際の入退院や出産の付き添いなどにより欠席する場合を想定している。配偶者の出産に関する手助けによって欠席される場合は「配偶者の出産補助」が欠席事由となり、それ以外の場合は「その他のやむを得ない事由」により欠席することとなる。

議提案  
第3号 ▶ 可決

## コロナ禍による厳しい財政 状況に対処し地方税財源の 充実を求める意見書

新型コロナウイルスの影響による地域経済及び地方財政は厳しい状況が続いており、地方税財源の充実が望まれます。4年度地方税制改正に向けて、下記の内容を国に求めるものです。

- 1 急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、地方一般財源の十分な総額を確保すること。
- 2 固定資産税は、市町村の重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、行わないこと。現行の特例措置は今回限りとする。
- 3 土地に係る固定資産税の課税標準額を2年度と同額とする負担調整措置については、3年度限りとする。
- 4 3年度税制改正により行われた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は行わないこと。
- 5 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

## お知らせ 委員会等でデジタル機器の 利用が可能に

審議の充実や事務作業の効率化を図るため、9月議会から各常任委員会等の会議で議員及び職員がデジタル機器（ノートPCやタブレット端末など）を使用できるようになりました。



## 一般会計補正予算(第5号)

歳入の主なものは、民生費、衛生費に伴う国・県の負担金・補助金などと、繰越金です。

歳出の主なものは、現庁舎等維持管理事業や、橋架替事業、民生費の償還金などです。

**問** マイナンバーカードの取得(交付)率はどのくらいか。

**答** 3年8月末時点では36.3%である。

**問** 要保護児童が増加した理由は。

**答** ネグレクトの児童が増えている。ほかにも、各方面からの相談なども増えている。養育支援が必要な家庭に、ヘルパーを派遣している状況である。

**問** 菫菟学校橋架替工事の期間が3か年とのことだが、各年度の工事内容は。

**答** 3年度は仮橋の設置、既存の橋の撤去。4年度は橋台の基礎杭、橋台の築造。5年度は護岸工、上部工の工場製作、架設を行う。

**問** 篠津分署改修事業284万2千円につき、当該改修事業の概要(特に改修後の建物の用途)、改修事業の目的、金額の内訳について詳細を伺う。今年7月21日の全員協議会において説明のあった通り、高齢者トレーニング室・観光協会・教育支援センターとするための改修という理解で間違いはないか。

**答** 本定例会の補正予算において篠津分署改修工事設計業務を計上し、現時点では、保健センター分館に入っている教育支援センター・シニア元気アップ教室・観光協会を移転したいと考えており、改修に向けた準備を進めている。また、金額の内訳は、改修工事の費用が高額とならないよう、現状の施設を生かした設計業務を進めていく。

## 一般会計補正予算(第6号)

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(事業者支援分)を活用した事業を実施するための補正予算です。

**問** 補正予算が議会閉会直前になった理由と経緯、及び小中学校の修学旅行等の延期又は中止する場合の判断基準とタイミングは。

**答** 8月25日に県から通知があったものである。これを受け各課から提案のあった事業の取りまとめや協議に時間を要した。修学旅行等は、旅行目的地の感染状況の悪化により、緊急事態宣言が発出される可能性がある場合は、早めの延期や中止もありえる。さらに、直前に学級閉鎖や学年閉鎖等の対応が必要な場合には、保健所等と連携し、慎重に検討していく。

## 特別会計補正予算

## 《国民健康保険》

歳入は、繰越金を増額し、歳出は、基金積立金・予備費を増額するものです。

## 《後期高齢者医療》

歳入は、繰越金を増額し、歳出は、後期高齢者医療広域連合納付金を減額し、諸支出金を増額するものです。

## 《介護保険》

歳入は、国庫支出金・繰越金を増額し、歳出は、基金積立金・諸支出金を増額するものです。

## 《白岡駅東部中央土地区画整理》

**問** マミーマート前の都市計画道路に車止めがあり、車両の通行路を絞っているが、将来はどのようなになるのか。

**答** 交通規制や信号の設置などについては、警察との協議を行い、安全に配慮しながら検討を進めていく。

議案No	区分	補正前予算額	補正額	補正後予算額
第49号	一般会計(第5号)	148億6737万3千円	3億5482万7千円	152億2220万円
第50号	国民健康保険(第1号)	45億4022万8千円	2億9489万5千円	48億3512万3千円
第51号	後期高齢者医療(第1号)	7億436万1千円	154万6千円	7億590万7千円
第52号	介護保険(第1号)	34億2269万円	1億7003万7千円	35億9272万7千円
第53号	白岡駅東部中央土地区画整理(第1号)	1億6363万円	1375万円	1億7738万円
第63号	一般会計(第6号)	152億2220万円	2613万8千円	152億4833万8千円

# Q&A

## 一般質問

# 市政のそこが聞きたい!

9月定例議会の一般質問は、14名の議員が35項目について行いました。

### ◆中村匡志 議員

- 行財政改革推進室による行財政改革の取組について
- 「クラウドファンディング型ふるさと納税」制度その他の寄附法制について
- 市の下水道政策（公共下水道・農業集落排水・浄化槽）における「汚水私費の原則」適用の不公平について
- 市内における盛り土について
- 白岡駅西口駅前の開発等における水害対策について
- 市内における「重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律」の適用について

### ◆大島 勉 議員

- 公共交通について
- コロナ禍における児童・生徒への支援について

### ◆遠藤 誠 議員

- 保育と発達障害について
- 心のケアについて

### ◆野々口真由美 議員

- 新白岡駅周辺地域の街づくりについて
- OGIGAスクール構想について

### ◆石渡征浩 議員

- ふるさと納税の強化について
- 行財政改革について
- 令和4年度予算編成について
- 道路の改築・補修について

### ◆菱沼あゆ美 議員

- 防災対策について
- 通学路などの交通安全と防犯について
- 市民に寄り添う取組について

### ◆中川幸廣 議員

- 市長が考える公助・自助・共助について
- 次年度予算案に係るコロナ禍における個人市民税や法人市民税等の税収確保はどのように捉えているのか

### ◆斎藤信治 議員

- 隼人堀川のカメをどうする
- 校則の見直しを

### ◆渡辺聡一郎 議員

- コロナワクチン接種事業について伺う
- JRへの要望活動について伺う
- 大山菁莪地域への政策について伺う

### ◆松本栄一 議員

- 小中学校での健康診断後の健康管理について
- 総合運動公園の活用拡大について

### ◆黒須大一郎 議員

- 未来を見据えた社会基盤を
- 自治体DXを推進するために
- 篠津分署の統合再編と保健センター分館の機能移転及びその跡地利用を問う

### ◆関口昌男 議員

- 難聴者のための補聴器助成制度の実施について
- 南小学校周辺の整備問題について

### ◆石原富子 議員

- 2040年問題に向けて

### ◆細井 公 議員

- 不織布マスク購入へ助成を

※1人につき2項目までを要約して掲載しています。  
※提出された原稿を尊重し、表現は統一されていません。



中村匡志 議員  
(創政会)

## 問 市内の盛り土に問題はないか

本市に適用される規制として、宅造法以外に盛り土を規制するものはあるか。非農地における無規制の盛り土・違法盛り土や、農地における盛り土の詐欺事例等はその程度あるか（件数・面積）。7月6日に国土交通大臣が表明した盛り土の総点検の進捗状況は。

## 答 条例に基づき適切な対応に努める

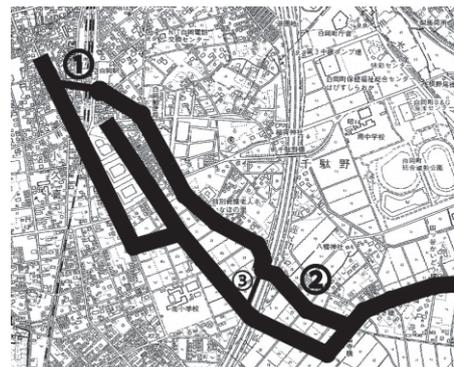
市の埋立て等の規制条例、県の排出たい積等の規制条例、県の農地改良に関する要綱などのほか、都市計画法の規制がある。問題事例は、農地において21件、1.4haとなる。国の盛り土総点検の抽出箇所は、点検の結果、詳細調査を必要とする盛り土はない。

## 問 大雨の際の白岡駅西口駅前の水害対策を

当該区域から三ヶ村落堀への水路は、①線路下の暗渠が旧式で断面が狭く、②稲作期には東北道東側で用排水兼用となるため急な降雨に対応できず、③東北道西側側道沿いバイパスに十分な広さがない。この問題をどう解消するか。実ヶ谷交差点の排水対策も伺う。

## 答 揚水機組合と連携を図り対応する

線路下の暗渠の断面や側道沿いのバイパス管の口径については、今後どのような改良が適切か検討していく。稲作時の大雨は、引き続き地元揚水機組合と連携を図り堰2ヶ所を開けるなどの対応をしていく。実ヶ谷交差点は、緊急浚渫推進事業債を活用し対応する。



白岡駅前から三ヶ村落堀への排水の流れ

## 問 公共交通の取組

6年目を迎えるのりあい交通は、これからの市の全体の公共交通を考え改善しなければならない。

今、利用が伸び悩んでいることに対する検討や具体的な取組、そして目標達成のためにどうするのか、市の考えを伺う。

## 答 改善策を検討しながら運行している

3年4月からの契約更新時に、予約不成立解消に重点を置き、その改善策として午前中の便を1台増車した。移送能力の向上と潜在的需要の顕在化につながり、利用者増の効果として表れている。今後も引き続き市民の声を運行内容に反映できるよう検討する。



大島 勉 議員  
(創政会)

## 問 コロナ禍における児童・生徒への支援



コロナ禍の中、感染不安などを理由に不登校の児童・生徒が増えている。当市においても例外ではないが市で把握しているか。また、そういった児童・生徒への支援はどのようにするのか。さらに、コロナ禍の白岡の教育について、教育長から児童・生徒へのメッセージは。

## 答 児童・生徒の声をもとに安心な学校を

今後も基本的な感染予防対策を確実に実施し、教育活動を実施していく。また、感染したことに対する差別や中傷は絶対に許さない。児童・生徒のみなさんは感染症に関して少しでも心配なことがあれば身近な人に相談してほしい。安心して学校で学習してほしい。

## 問 心のケアについて

6月議会で事故対応の答弁があったが、対応期間が1週間という信じられないものであった。心的外傷ストレス障害は発症に2、3月かかるケースもあり、心のケアを初心から見直すべきだと思う。また体制作りなどやり直すべきだ。

## 答 関係機関等との連携を継続する

子どもたちへの心理面での支援について、学校という教育機関に未熟な部分があるということは認識している。臨床心理士、カウンセラー、関係機関などの専門的見地からの意見を伺いつつ、子どもたちへの心理面へのアプローチを図り、未然防止に努めていく。



遠藤 誠 議員  
(WAKABA)

## 問 保育と発達障害



発達障害は早期に気が付きケアすることが大切だ。現段階では各保育所で、必ずしもケアに導く体制が整えられているとは限らない。市ではどの段階にあり、これからどのように発達障害に関する政策を進めていくのか。

## 答 児童の発達を支援する体制を整備する

発達障害等の疑いのある児童の状況について把握しており、支援の方法について検討している。

今後は、保護者、保育者、療育の各分野において児童の情報を共有しながら、必要に応じた療育等のサービスに接続する環境を構築していく。



野々口眞由美 議員  
(TSUNAGU)

**問** 新白岡駅周辺地域は  
このままなのか

高齢化が進む中、駅前を中心とした商業施設や住民サービス、エスカレーターの設置を望む声比以前から多くある。駐車場だらけの駅前が市の顔なのか。白岡町時代からの課題が課題のままの現状をどうするのか。西口の開発も含め、今後の街づくりについて伺う。

**答** 民間と連携し商業施設等を誘導していく

新白岡駅周辺地域は生活利便性の面で多くの課題がある。商業施設等については、市民の意向を把握しながら民間事業者等との連携を図り、立地を誘導できるようなまちづくりを検討していく。エスカレーターの設置は乗降客数の増加状況等を注視していく。

**問** GIGAスクールに  
おける課題について

学習用端末を貸与する側の責任として、学習目的外の使用ができない対策を講じ、子ども達をネットのリスクから守るべきではないか。また、学校が扱う情報は成績などの重要な個人情報が含まれる。徹底したセキュリティ対策が必要であるが、対策と進捗を伺う。

**答** 安心して活用できる環境を整えていく

導入当初から家庭への持ち帰りを想定し、どのような環境でもフィルタリングがかかるシステムを構築している。徹底したセキュリティ対策は必要不可欠であり、セキュリティポリシーを今年度内に改訂し、安心して情報機器を活用できるように整備していく。



石渡征浩 議員  
(TSUNAGU)

**問** 道路補修の優先順位を  
明確に

道路補修の優先順位の決め方は、不可解な点が多い。財政事情が厳しさを増す中では、誰もが納得する客観的な基準がますます重要になる。評価の視点とそれぞれの重み付けを明確にした優先度判断スコアを作成して判断する必要があると考えるが、見解を伺う。

**答** より明確な路線選定を  
検討する

道路補修路線の選定は、舗装長寿命化修繕計画を基本として、その他、道路パトロールで確認している路面状況や市民の皆様からの要望等を総合的に判断し実施している。路線選定をより明確化することは必要なものと認識しており、検討を進めていく。

**問** 行財政改革は  
スピードが重要

改革に向けた取組項目は、「いつまでに」という時間軸で分類し、年度ごとに、どのくらいの経費削減効果や増収効果が見込まれるのかを管理する必要があると以前、指摘したが、その後の検討結果を伺う。

**答** 原則として4年度までに  
取り組む

行財政改革は短期間で行うことが求められていることから、原則として4年度までに取り組むものと整理した。経費削減効果額や増収効果額については、現在、算出できていない。今後は、各取組における効果額について、金額で表せるものは、算出していく。



**問** 市民に寄り添う取組は

様々なボランティア活動で、市に貢献する人々がいる。表彰や感謝を伝える機会を持ってないか。また、フクチン予約でデジタル活用の格差が顕著になった。デジタル弱者に研修を行い、支援サポーターを認定し、使える人を増やす取組をしてはどうか。

**答** 市民に寄り添う取組を推進する

市やコミュニティセンターのホームページ等で、様々な活動を取り上げ、感謝を伝えていく。デジタル機器に不慣れな皆様のサポートができるようコミュニティセンターと連携し、パソコンやスマートフォン講座を開催するなど積極的に支援していく。



菱沼あゆ美 議員  
(公明党)

**問** 想定浸水深シールで水害の備えを

豪雨などによる災害リスクの周知と認識が重要である。ハザードマップ情報に沿った想定浸水の深さを示すシールや看板を、防災行政無線や公共施設などに掲示し見える化する取組がある。リスクを日頃から意識してもらい、水害の備えに役立たせてはどうか。

**答** 河川管理者と連携し取組内容を検討する

国土交通省では、水害等における浸水の深さや避難所などに関する情報を表示する取組について、河川管理者と市町村の役割分担を明確にするためのアンケート調査を実施している。この調査を基に、今後、河川管理者と連携を図りながら取組内容を検討していく。



想定浸水深看板

**問** コロナ禍での次年度の税収確保の状況は

コロナ禍で次年度の個人市民税や法人市民税の税収確保は難しいと考えるがどのように捉えているか。また、市内の法人の倒産や事業廃止はないか。更に法人の収入はどのように捉えているか。

**答** 今年度以上に厳しくなると予想している

コロナ禍の影響の長期化により来年度の税収は今年度以上に厳しくなると予想している。今年度の法人の廃止や休業件数は昨年同時期と比べ減少しているが、一部の業種で当初の見込みより税収が減少しており、来年度の歳入予算額も減少すると見込んでいる。



中川幸廣 議員  
(白岡ビジョン)

**問** 市長が考える公助・自助・共助について

市長が考える公助・自助・共助とは。また、近時の市の予算では扶助費が増大し公助の予算が抑制される傾向にあると考える。そのような状況下での次年度予算案への反映は。更に第6次総合振興計画への反映はいかなるような内容か伺う。

**答** 自助・共助・公助の充実を図っていく

自助・共助・公助の役割を果たせるよう、来年度予算の編成を行い、防災施策の基本理念である「市民の力、地域の力を結集し、みんなで取り組む防災減災のまちしらおか」の実現につなげていく。また、これらの役割を第6次総合振興計画の目標として設定する。





齋藤信治 議員  
(WAKABA)

**問** 隼人堀川にカメが

隼人堀川にカメ(アカミミガメ)が多数生息するようになった。そこで、生態系が攪乱かくらんされているか実態を調査・把握したうえで  
①個体数削減のための捕獲  
②増えないための対策  
③生物多様性地域戦略の策定  
以上3点を実施できないか。

**答** 終生飼養を推進していく

①カメの捕獲は、実被害の把握ができた段階で検討していく。②動物の愛護と適正な飼養に関して普及啓発を行い終生飼養を推進する。③第2次白岡市環境基本計画に基づき、生物多様性を保全・創出するために、市民・事業者等と協働による取組を進めていく。

**問** 児童・生徒を中心に校則の見直しを

子どもの権利条約にあるとおり、子どもが声を上げ、子どもが議論し、子どもが納得するように校則を見直さないか。LGBTQの観点から制服の見直しも必要ではないか。学校の中心は子どもである。子どもが楽しく生き生きと学校生活を送れる校則にしないか。

**答** 必要に応じて校則の見直しを進める

現時点では必要かつ合理的な範囲を逸脱した校則は確認していない。校則は生徒に機械的に守らせるのではなく、生徒が自分のこととしてとらえ、自主的に守るよう指導していく必要がある。社会の常識や時代の進展などを踏まえ、必要に応じ校則を見直していく。



渡辺聡一郎 議員  
(新風の会)

**問** 大山菁莪地域の将来を見据えた政策は

大山菁莪地域で今後10年どういった取組を進めていくのか。両地域の持続的な将来像を考えるべきだ。優良田園住宅制度を活用し、自然環境を守りながら定住できる仕組みづくりを進めるなど、地域の人口を維持していくための政策が必要ではないか。

**答** 地域の魅力向上に向け調査研究する

大山菁莪地域において人口を維持するためには、地域の魅力向上を図ることが必要である。地域で育った若者にそのまま住み続けてもらうことや、移住などを促進するために優良田園住宅制度を含め、地域の魅力向上につながる取組を調査研究していく。

**問** 駅の利便性向上を

駅の利便性向上に向けてJRにどのような要望活動を行っているか。また進捗状況は。実現するためには、単に要望するだけでなくJRと交渉することが必要。新白岡駅のホーム屋根延伸は長年の課題だ。市とJRで費用を出し合って実現することはできないか。

**答** 様々な機会を捉えて要望していく

毎年、埼玉県などを通して、駅のバリアフリー化などの要望を行っている。現時点では、具体的な整備うわやの計画等は示されていない。ホーム上屋は、鉄道事業者であるJR東日本に整備していただきたいと考えている。今後も、様々な機会を捉えて、要望していく。



新白岡駅のホーム屋根

**問** 小中学校での健康診断後の健康管理を

全国保険医団体連合会の本年の調査では、再受診を必要とする児童・生徒の未受診率は、小学校49.2%、中学校71.5%である。未受診の理由は、健康への理解不足、新型コロナによる受診控え等であり、健康教育・指導の重要性が提言された。当市の状況は。

**答** 児童・生徒の健康管理を適切に進める

市内小中学校における未受診率は、全国保険医団体連合会調査の未受診率を下回っており、多くの児童・生徒が再受診を行っている。今後も、学校における児童・生徒の健康管理及び保健管理を適切に進めていくことができるよう、実施体制の充実を図っていく。



松本栄一 議員  
(創政会)

**問** 総合運動公園アスレチック広場の改良を

各運動場は、幼稚園児からシニアまで多くの方に利用されているが、アスレチック広場は周知されていなく、幼児・園児が楽しく遊べる遊具がない。最近の遊具は進化しており、利用者ニーズを把握し、アスレチック広場を改良して、子育て世代に周知できないか。

**答** 広場情報を更新し市民への周知に努める

広場内の遊具は、安全性を最優先に適正な管理を行うとともに、老朽化した遊具は、利用者のニーズに沿ったものに更新していく。また、市公式ホームページにある公園の施設利用情報に、アスレチック広場の情報を加えるなど更新を図り市民への周知に努める。



総合運動公園のアスレチック広場

**問** 消防組合篠津分署の廃止を市長に問う

7月21日の資料には、昨年8月の第4回経営政策会議で合理化案に対する議論とだけあり、本年1月の第5回経営政策会議で篠津分署の廃止が決定されたとある。前市長からどう引継ぎ、第5回会議にてどのように現市長は主張し審議され、決定されたのか。

**答** 篠津分署の統合再編を着実に進めていく

第4回経営政策会議では、当時の市長からは、消防組合の副管理者として、合理化を進めるための旗振り役を行っていく考えが示された。また、第5回会議では、行財政上のスケールメリットや消防力などを検討した結果、篠津分署の統合再編を決定した。



黒須大一郎 議員  
(白岡ビジョン)

**問** 未来を見据えた社会基盤整備を

蓮田市は、西口再開発を成し遂げ、財源確保につながる高虫西部地区産業団地も進展し、未来への社会基盤整備を進めている。未使用の東北道高速バス停施設を活用した交通インフラ整備と篠津北東部での新土地活用などで、近隣に遅れない社会基盤を整備すべきだ。

**答** 交通基盤を整え新たな土地利用を図る

既存のバス停を活用し、高速道路への出入口などを整備することは困難である。都市計画道路等の整備により、交通ネットワークの形成を図り、生活利便性の向上に努める。併せて、市内の農業振興との調和を図りながら産業系土地利用の推進を図っていく。



使われていない高速バス停施設



関口昌男 議員  
(日本共産党)

**問** 南小学校周辺の整備問題を伺う

南小学校の周辺は最近住宅建設が進んで環境問題が発生しているが建設の実態はどのようなものか。また、通学路として整備している道路の整備状況はどのようなものか。これら南小学校周辺の道路環境等の整備は先行的に実施すべきと考えるが、市の検討状況を伺う。

**答** 市内の整備状況などを考慮して検討する

南小学校周辺の開発許可件数は、過去2年間で8件である。通学路は、市道6170号線、白岡第一ノ二号幹線の蓋架け事業を優先し、児童が歩道を通行できるよう工事を行っている。道路環境等の整備は、他の地域の整備状況等を考慮しながら検討していく。

**問** 難聴者のための補聴器助成制度の実施を

補装具については、障害者には一定支給がなされているが、その実績はどのようなものか。そして一般の難聴者のための全国の補聴器助成制度の実態はどのようになっているか。この制度を市で導入するにはどのような課題があるのか。検討状況はいかがか。

**答** 国の研究結果を注視していく

2年度の実績は、障がい者が購入5件、修理4件で、障がい児が0件であった。難聴高齢者への補聴器助成制度は、東京都など一部の市区町村において実施している。市では、国の聴覚障害の補正と認知機能低下予防の効果に関する研究結果を注視していく。



石原富子 議員  
(TSUNAGU)

**問** 2040年問題に向けて

団塊ジュニアの世代が高齢者になる2040年には、少子高齢化による支え手の減少、社会保障費の増大といった課題が待ち受けている。市としては市内各地区の実態把握をして、今後の推移を見越し、今から福祉の長期計画を立て、備えるべきと考えるがいかがか。

**答** 2040年を見据え各種施策に取り組む

すでに活動している団体などから意見を伺うなど地域の実情を把握することは重要であると認識している。高齢者が住み慣れた地域で安心して住み続けられるよう、2040年を見据え、介護予防・健康づくりなど、引き続き各種施策に取り組んでいく。

**問** 必要な方への不織布マスク購入助成を

新型コロナ感染予防には不織布マスクが極めて有効であるとされるが、使い捨てのため、安価とはいえ各自の金銭的負担が大きい。マスクの購入が生活に特に重く影響する方々に対し、公衆衛生の観点から助成を行う必要があると考えるがどうか。

**答** 寄附マスクの配布を行っていく

低所得世帯やひとり親世帯等に対しては、生活を支えるための支援が行われていて、家計の負担軽減は図られている。それに加え、寄附を受けたマスクの一部を、フードパントリーを実施する団体等を通して、必要とする方に配布していきたい。



細井 公 議員  
(WAKABA)



# 委員会活動報告 コロナ禍のため市内で調査

## 産業建設常任委員会

### 篠津北東部地区における土地改良事業について

7月19日(月) 農政課

民間事業者を活用した土地改良事業として実施する「篠津北東部地区における土地改良事業について」を調査した。

今回の土地利用計画区域は、約11haであり、その中に農地として約8ha、物流施設として約3haの利用計画がある。

市は、本年4月に連携協定を締結している。企業連携協議会には、株式会社サラダボウルをはじめ、4社が参加しており、今後、「地域・企業連携農村創生プロジェクト」として事業を展開することになる。

篠津北東部地区の農地には、高さ約7mのガラスフィルム製のハウスが建てられ、A1等の最先端技術を導入したトマト栽培が行われる予定である。

この事業のメリットは、耕作放棄地を一定の面積で開発できるとともに、新たな雇用の



創出への期待、また、新たにできる物流施設は、防災機能の充実が予定されており、非常時における避難場所や電源の提供を受けられるところにある。

篠津北東部地区は、様々な分野の企業から注目されているので、歳入確保、また、雇用創出のため、しっかりと取捨選択し、より良い活用方法を検討する必要がある、この事業の推進が一つの課題解決に貢献することを期待して、今後の事業の推移を注視していきたい。

## 総務常任委員会

### 庁内ネットワークシステムについて

7月29日(木) 財政課

国が行っている自治体情報セキュリティ強化の動きを受け、本市の「庁内ネットワークシステムについて」を調査した。

地方自治体では、「三層の対策」により、情報セキュリティの強化を図ることとされている。「三層」とは、「個人番号利用系事務」<sup>エルジーワン</sup>「L G W A N \* 接続系」「インターネット接続系」の三つであり、情報漏えい事案が発覚するまでは一体的に行われていたものを、それぞれ分離して取り扱い、情報セキュリティの強化を図るものである。

本市の情報システムは大きく基幹系システムと情報系システムとの二つに分かれているが、基幹系システムとL G W A N 網は物理的に分離している等の理由から、危機管理においても安全が担保されている。

また、ガバメントクラウドを活用した標準システムの導入により、7年度末までには、特定の共通業務が

標準化される。このことにより、3割程度の財政負担の軽減とともに市民等の利便性や業務の効率性の向上が期待できる。

一方で、業務システムの財政負担やその運用は市民から最も見えにくい部分であるため、情報漏えい対策やサーバの安全管理、クラウド化への危機管理など、情報管理もますます大切なこととなってくると考えられ、今後の事務の取組を注視していきたい。

※L G W A N…総合行政ネットワーク





# 議会日誌

※主なものを掲載しています。

- 8月** 4日 文教厚生常任委員会の所管事務調査  
 20日 議会運営委員会  
 26日 本会議(開会・議案説明)  
 30日 本会議(一般質問)  
 31日 本会議(一般質問)
- 9月** 1日 本会議(一般質問)  
 3日 本会議(議案質疑)  
 議会運営委員会  
 議会広報常任委員会  
 7日 産業建設常任委員会  
 8日 総務常任委員会  
 9日 文教厚生常任委員会  
 10日 産業建設常任委員会  
 13日 総務常任委員会

- 14日 文教厚生常任委員会  
 21日 議会運営委員会  
 本会議(議案採決・閉会)  
 28日 議会広報常任委員会
- 10月** 1日 蓮田白岡衛生組合議会定例会  
 11日 議会広報常任委員会  
 12日 埼玉東部消防組合議会定例会  
 15日 県議長の役員会  
 19日 総務常任委員会の所管事務調査  
 20日 文教厚生常任委員会の所管事務調査  
 26日 産業建設常任委員会の所管事務調査  
 埼玉東部消防組合議会定例会  
 28日 議会全員協議会

## 政党・会派に変更がありました。

※印が変更があった者 ○印は会派代表者 令和3年10月18日現在

政党・会派名	所属議員
日本共産党 白岡市議団	○関口 昌男 山崎 巨裕
公明党白岡市議団	○菱沼あゆ美 中山 廣子
創政会	○大島 勉 中村 匡志 松本 栄一
T S U N A G U	○石原 富子 石渡 征浩 野々口眞由美

政党・会派名	所属議員
白岡ビジョン	○黒須大一郎 ※中川 幸廣
新風の会	○渡辺聡一郎 加藤 一生
W A K A B A	○遠藤 誠 斎藤 信治 ※細井 公

政党・会派に所属しない議員 江原 浩之

### 9月議会定例会傍聴者数

本会議 市内17名 市外 0名 合計17名  
 委員会 市内22名※ 市外 0名 合計22名  
 (\*委員外議員11名を含む)

次回の議会定例会は、  
**11月25日(木)**開会予定です。



本会議・委員会の  
 傍聴にいらして  
 ください。  
 (議場は市役所4階です。)

### 議会広報常任委員会

委員長 中村 匡志  
 副委員長 中山 廣子  
 委員 野々口 眞由美  
 委員 斎藤 信治  
 委員 山崎 巨裕  
 委員 渡辺 聡一郎  
 委員 黒須 大一郎

### 編集後記

9月議会では決算審議がありました。予算は適正に使用されたが、市民の暮らしは良くなっているか、様々な観点から検証を行いました。また、押印の廃止やパソコンの委員会への持ち込みなどデジタル化に向けた取り組みが少しずつ進んでいます。こうした取り組みによって事務作業の効率化だけでなく、審議の充実・活性化を図っていききたいと思います。(渡辺)